



■3月の予定表をお送りします。

2月23日(水)に練習再開しましたが、まだ市内では学級閉鎖なども続いていくように思われます。オミクロンは軽症が多いからと油断せずに、これまで以上に感染対策をしっかりと行ってください。

3月度は例年通りの練習計画を組んでおります。月末には京都ジュニア～全小予選がはじまりますので、参加選手はふるってご参加ください。



■中3の選手が共栄の高校部に上がりますので、いわゆるトップチームは現小6～中2になります。セカンドチームのイメージから脱却して、もう一つ上のレベルを目指してもらいたいです。

■今後の予定

舞鶴グリーンさんの企画で、ジュニアチャレンジマッチを開催することとなりました。こういう交流大会は、もっと実施すべきだと思っているのですが、なかなかできません。次回は、ぜひFJTCで開催しようと思っておりますので、一人でも多く、試合ができるようになってください！選手コースに上がるジュニアをお待ちしております！

■体調管理をしっかりと！

コロナやインフルエンザ対策として、体の免疫機能が下がらないように、十分な睡眠と、しっかりとした食事を心がけましょう！



■テニス人生

テニスの豆知識 66

よく、「テニスで食って行けるわけではない。」と言われます。プロや実業団で、テニスを生業にしてそこそこの生活をやるレベルというのは、ほんの一握りで、競技人口からすれば、ゴルフや野球の方が、まだ稼げる可能性があるかも知れません。特に男子の場合は、人生をかけてテニスに取り組むのは難しいです。松岡修造氏は「なぜ、もっと世界に出てチャレンジして行かないんだ!？」とジュニアに檄を飛ばしますが、「そりゃ、あなたは東宝財閥のお坊ちゃんですから、テニスだけやってても将来の生活に不安はないでしょうが、一般ピープルはそうは行かんのですよ…」と、内心思っています。女子の場合は、とにかくやれるだけやって、最後は嫁に行けば…。みたいな声も聞かれますが、それも何か違うのでは、と思います。

かと言って、チャンピオンシップを目指して取り組む以上、最初から「まあ、そこそこで良いんじゃない?」と言われたら、モチベーションが下がらないでしょうし、逆に本人がそこまで思っていないのに、学校以外はテニスの練習だけの毎日、みたいなのも無理があります。

大切なのは、保護者と選手は、家族の子育て・教育プランの中で、テニスをどういう位置づけでとらえ、どこを目標に設定するのかということ、自分の気持ちや選手のタレントも見極めた上で、話し合っって目標を決めることが大切だと思います。もちろん、この目標設定は、中期～長期、状況によって修正することも必要だと思います。

■今後の試合やイベント

・舞鶴チャレンジマッチ 3/13 (丸山テニスコート)

FJTC福知山ジュニアテニスクラブ (京都共栄学園内)

620-0933 福知山市篠尾62-5 tel.0773-22-6241 <http://www.fjtc.jp>

代表・京都府テニス協会理事 國田 敦・090-3058-5576 Mail: info@kyoei.ed.jp